



No. 108



- 2000年環境特集
- 道元禅師御生誕800年

目 次

○2000年環境提言 地球は自分である 檜崎通元 1

○2000年環境ミュージカル「あいと地球と競売人」 2

○環境講演「めぐりあえてありがとう」③ 坪田 正 4

○環境講演「地球環境の実態を知る」③ 高木善之 6

○禅のつどい中央研修会講演
「今が大事」 -父、相田みつをを語る-② 相田一人 8

○仏教講座④法華経『寿量品』を読む 中野東禅 10

○慕古を語る「チャンペラ経は有り難くない」 小倉玄照 12

○お寺散策 京都 誕生寺「ご誕生800年の聖地」 14

○会長 新年のご挨拶 15

○石見曹青発「高祖大師御生誕800年慶讃法要」 巖修 15

○評議員会報告 第2回 16

○平成11年度 禅文化学林開催案内 19

○インターネットの世界をのぞいてみよう！その10 20

○パソコン委員会だより
パソコン格闘記 ~パソコンで「鉞」を表示する~ 21

○管区だより 中国曹青石見大会開催される 22

○賛助会員御芳名 23

○総合企画事業研修委員会だより 25
花祭りキャンペーンお申し込みのご案内

○コラム 26

- ・会長が走る 荒木正昭 ②
- ・詩 おぐらみよこ

道元禅師全集

原文対照
現代語訳 (全17巻)

生誕800年記念
刊行開始

鏡島元隆 <監修>

現在望みうる最高の執筆陣により、現存する道元の全著作を平易に解説する初の本格的全集。

<好評既刊>

⑩永平広録 1 鏡島元隆<訳注> 5600円

⑪永平広録 2 鏡島元隆<訳注> 5600円

近刊 ⑫永平広録 3 鏡島元隆<訳注> 予価5600円

<全巻内容>

①~④正法眼蔵(水野弥穂子訳注) ⑤~⑧永平広録・永平語録(鏡島元隆訳注) ⑨語録(伊藤秀憲・角田泰隆・石井修道訳注) ⑩清規・戒法・嗣書(小坂機融・角田泰隆・伊藤秀憲訳注) ⑪宝慶記・正法眼蔵随聞記(伊藤秀憲・東隆真訳注) ⑫法語・歌頌等(水野弥穂子・角田泰隆・石井清純訳注)

◆内容案内呈

春秋社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-6
☎(03)3255-9611 FAX(03)3253-1384

全国曹洞宗青年会

第14期会長の公募について

会長選考委員会において、会則並びに細則に従って下記の事項が決定されました。全国曹洞宗青年会第14期会長に立候補するものは、下記の要項に従い、立候補届け出を完了してください。

全曹青第14期会長選考委員会 委員長 永原裕晃

全国曹洞宗青年会

第14期会長

選考委員会届け出要項

- 一、立候補届け出並びに履歴書の提出
(書式Aを参照)
 - 二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出(書式Bを参照)
 - 三、推薦状
 - 四、(1)管区曹洞宗青年会代表(書式Cを参照)
(2)単位曹洞宗青年会代表(書式Dを参照)
 - 五、立候補届け出先
〒42111314
静岡県静岡市大原二九六
東泉寺
 - 第14期会長選考委員会
委員長 永原裕晃
☎054127910009
 - 六、立候補届け出提出期限
平成十二年二月二十九日(必着)
 - 七、届け出方法 必ず郵便書留にてお願いいたします。
- 選考委員の構成は下記の通りです。
- 委員長 永原裕晃(東海管区理事)
副委員長 竹内文成(近畿管区理事)
委員 荒木正昭(第十二期会長)
委員 実典典英(関東管区理事)
委員 森山容光(中国管区理事)
委員 本土一真(四国管区理事)
委員 尾田正明(九州管区理事)
委員 玉井清山(北信越管区理事)
委員 渡辺善幸(東北管区理事)
委員 白井応隆(北海道管区理事)

全国曹洞宗青年会会則(抜粋)

第三章 役員

第九条(役員の種類及び数)

本会に次の役員を置く。

- ① 会長 一名
- ② 副会長 三名
- ③ 理事 九名
- ④ 委員長 各一名
- ⑤ 事務局長 一名
- ⑥ 会計 一名
- ⑦ 監事 二名

第十条(役員資格及び選任)

一、本会の役員は第七条に定める正会員の中から就任年度四月一日に三十九歳以下の者より選任する。但し、理事の年齢についてはその限りではない。

また、期間中は、正会員としての権利及び義務を有する。

二、本会の役員選任は次の通りとする。

① 会長は、別に定める細則に従って選任する。

② 副会長は、別に定める細則に従って選任する。

③ 理事は、各管区に於いて一名選出する。

④ 委員長は、理事会で選任し、評議員会の承認を得る。

但し、特別委員会委員長はその限りではない。

⑤ 事務局長は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。

⑥ 会計は、会長が指名し、理事会

並びに評議員会の承認を得る。
⑦ 監事は、理事会が推薦し、評議員会で承認する。

第三号 会長副会長選出に関する細則

第一条 この細則は、本会の会則第十条第二項に基づき、会長・副会長選考に関する事項を規定する。

第二条 会長・副会長選考を行う為、選考委員会を組織する。

第三条 選考委員会は、理事及び現会長をもって構成する。

第四条 選考委員長及び副委員長各一名は、委員の互選による。

第五条 選考委員会は次期会長候補の届け出の諸手続きを定め、初年度の二月十五日迄に公表する。

第六条 次期会長候補者は、管区曹青会代表者と単位曹青会代表者の推薦状を付けて選考委員長宛に届け出た者とする。

第七条 次期会長予定者の選考は、第六条の定める候補者の中より、選考委員会で、責任をもって選考する。

第八条 次期副会長予定者の選考は、選考委員会と次期会長予定者と協議し、責任をもって選考する。

第九条 選考委員会は、選考した次期会長予定者及び副会長予定者を、評議員会の決定を得て、現会長の任期二年目総会でその承認を行う。

2000年環境提言

地球は自分である 仏国土現成を誓願



瑞応寺専門僧堂 堂長 檀 崎 通 元

山を愛するの愛 初めよりもはなはだし(甚)

道元禪師のお言葉です。

越前入りをして山住いの感懐を詩歌に残された珠玉の一つで、修行に山居が好適であることは申すまでもありません。

「尽未来際、当山の境を離れず」とも示してある通りです。山を愛することは自己を大切にすること、自分を護持することですから、今日はやりの「自分を大切に、地球を大切に」という、他と一線を完全に区切った考え方は、出発点が違います。大智禪師の詩に、何かの事で聖護



寺を下る気持を述べられたものがあります。

曾て南能の世難を避くるに慣って、

暫く雲水を辞して人間に下る。

一瓶一鉢縁に随って住す。

到る処無心なれば便ち是れ山。

中国の六祖慧能禪師が法難を避けた例にならい山を下るが、到る処無心なれば山ならざるはない。山として雲を帯びざるはない、とのご境界が察せられます。

天地自然との一体観察、感覚からすれば、自然を征服する、山に挑戦するという考えは出て来ません。

人間関係でも親子、男女等、東洋と西洋で大きな相違がありました。近頃は日本の方が西歐的見解の平等均一で権利や義務を前面にするのが多く聞かれます。反面欧米が東洋的ものに接近して、日本が逆輸入せねばならぬ時代を迎えています。

地水火風の四大不調、病める地球を他人事に見るのではなく、自分の身心を自ら守る。人間本位の便利さ追求の果に、生物無生物にも悪循環の病根は、自然治療の治癒力を培養する努力を消滅します。

仏道の叢林生活は、竜蛇混雑、強弱優劣を問わず、新旧長短共に道に向う誓願を土台とし、衣食住の中でも食生活を正すことから次第に始められます。

坐禅は全てを包含する基本姿勢であり、清浄大海衆として威神力を備えられることです。



瑞応寺の分僧堂、熊本県聖護寺は大智禪師が20年山居した所。ここでの修行は自然(地球)との共生である。

書式B

書式A

立候補者の曹洞宗青年会における経歴(例)

平成 年 月 日

- 【昭和62年4月 ○○県曹洞宗青年会入会】
- 【平成3年4月 ○○県曹洞宗青年会庶務】
- 【平成5年4月 ○○県曹洞宗青年会理事】
- 【平成7年4月 ○○県曹洞宗青年会事務局長】
- 【同 年 ○○管区曹洞宗青年会理事】
- 【同 年 全国曹洞宗青年会○○委員】
- 【平成9年4月 ○○県曹洞宗青年会副会長】
- 【平成9年4月 全国曹洞宗青年会○○委員長】
- 【平成11年4月 ○○県曹洞宗青年会会長】
- 【同 年 ○○管区曹洞宗青年会副会長】
- 【同 年 全国曹洞宗青年会評議員】

全国曹洞宗青年会
第 期会長選考委員会
委員長 殿

全国曹洞宗青年会 期会長に立候補致します。

都道府県 第 宗務所 教区 寺籍番号

寺院名

氏名 印

以上の経歴に相違ないことを証明いたします。

宗務所 第 教区 番
寺院名
経歴作成人 印

- 候補者の履歴
- 1: 生年月日 昭和 年 月 日
 - 2: 所属曹青会 管区 青年会

注) 個人加盟の場合は、所属曹青会の記入は不要です。

- 添付書類
- 1: 立候補者の、曹洞宗青年会における経歴書
 - 2: 推薦者名簿
 - 3: 立候補にあたっての執行方針

書式D

書式C

平成 年 月 日

平成 年 月 日

全国曹洞宗青年会 第 期会長選考委員会
委員長 殿

全国曹洞宗青年会 第 期会長選考委員会
委員長 殿

全国曹洞宗青年会 第 期会長に
師を推薦致します。

全国曹洞宗青年会 第 期会長に
師を推薦致します。

単位曹洞宗青年会名 ()
単位曹洞宗青年会於ける推薦人役職名 ()

管区曹洞宗青年会名 ()
管区曹洞宗青年会於ける推薦人役職名 ()

宗務所 第 教区 番
寺院名
推薦人 印

宗務所 第 教区 番
寺院名
推薦人 印

2000年環境特集

環境ミュージカル

「あいと地球と競売人」

このミュージカルは、夢と希望のある二十一世紀のために、信じて進むべき方向を示すものだと思います。

ほんのすこし、手をとりあえば、きっと地球はすくえるんだ。

ミュージカル「あいと地球と競売人」はマンガ「地球の秘密」を書き残して、十二歳で亡くなった島根県簸川郡斐川町の坪田愛華ちゃんの遺志をモチーフとした作品で、今年で六年目の公演となります。

愛華ちゃんの夢は、このマンガを通して世界中の人々に、地球環境保護の願いを伝えていくことでした。

二十世紀も後一年で終わろうとしています。希望ある二十一世紀のために私たちはこのミュージカルにより、愛華ちゃんの願いを一人でも多くの人に伝えていきたいと思っています。

今回も総演出・総合振付を劇団四季ミュージカル「CATS」等の振付をしてこられた山田卓氏が担当し、華麗なダンスとすてきなメンバーが次々と飛び出す、ダイナミックかつストレートな愛と感動がいつぱいのミュージカルです。

ミュージカルのポスター



華麗な演技をする子供達



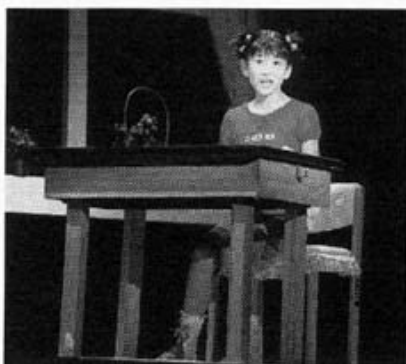
妖怪の首領

【ストーリー】
暗黒の世界に住む妖怪の首領は、汚れつつある地球をひそかに競売にかけて売り払おうと考えています。しかし、まだきれいな地球は思うようには売れず妖怪たちはもつともつと地球を汚して手に入れようと企んでいます。

こうした妖怪たちの企みをよそに、子どもたちはむじやきに楽しく毎日を送っています。

そんな中であいちゃんは自然のしくみや地球の成立を学び、地球環境を守ることの大切さを語りはじめますが、友達にもなかなかわかってもらえません。でも、あいちゃんは人間たちが助け合うならば地球環境を守ることができることを確信し、

その気持ちをマンガで世界に訴えていくことを決意します。



環境本を書く愛華ちゃん

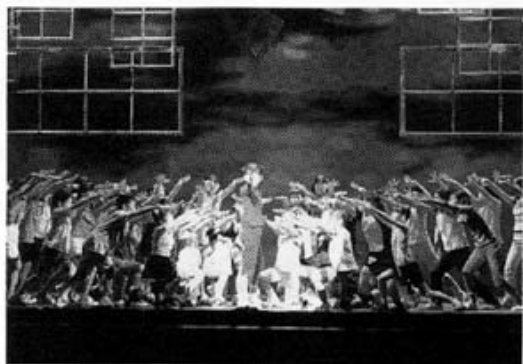
そんなあいちゃんの希望、夢を暗黒の妖怪たちは恐れはじめ、危機感をつのらせます。たまりかねた妖怪の首領は、あいちゃんの暗殺を企て、死神をあいちゃんの元に向わせます。天使たちは必死にいとめようとしますが阻止することはできず、悲しくもあいちゃんは天に召されていきます。



地球の競売人

この死を契機に、子どもたちは力をあわせて、あいちゃんの夢をかえようと決意しますが、暗黒の妖怪たちはその子どもたちにまで襲いかかります。しかし、子どもたちは、天からのあいちゃんの声に励まされ、おびえながらも必死に地球を守る歌を歌い続け、ついに暗黒の妖怪たちの企みを打ち破ることに成功するのでした。

(資料提供 島根県文化振興財団)



地球を守る愛華ちゃんと子供達

このミュージカルを、次代を担う子どもたちに伝えてゆきたい。

私どもの財団では、「環境」というテーマを、二十世紀を語る上で、切っても切り離せないものとして位置づけ、それが舞台芸術の中において、観客に表現していく方法はないものかと考えてまいりました。

そして、現在、「環境」をテーマに、このミュージカルと「しまね映画祭」という事業を行っております。

いずれの事業も、すでに六年から八年を経て、毎年継続して公演しておりますが、舞台芸術を通して環境保護を啓発していくという方法は、感性に訴えるという点で、インパクト及びメッセージ性が極めて高く、特に、このミュージカルは、次代を担う子どもたちに伝えていくためには判りやすい方法だと思っております。

お陰様でこの六年間でお客様の総人場者数も二万人を超え、総出演者・スタッフ数も二千人を越えました。

そして、このミュージカルをご覧になったり、携わった方一人ひとりが、これを契機に、少しずつでも地球に優しく接し、また、他の皆様にも愛華さんの願いを伝えていって頂ければ幸いです。

「みんなが力を合わせれば何だってできる。今からだって遅くないのよ。」というあいちゃんの台詞がこのミュージカルの中にありますが、この言葉こそ、夢と希望のある二十一世紀のために、信じて進むべき方向を示すものだと思います。

ミュージカル「あいと地球と競売人」
プロデューサー 久保田 孝

主催 島根県民会館・財団島根県文化振興財団
共催 島根県教育委員会。芸術文化振興基金
助成事業・ごうぎん島根文化振興財団
助成事業



地球のために
一人ひとりが出来ること

それから愛華は、「お父さん、自動販売機からジュースを買ってはいけない。」と「言うようになりました。自動販売機一台の消費電力は一家族の消費電力と同じくらいの電力が消費されます。日本の消費電力はイギリスの十倍です。」
愛華の影響を受けたのかどうかは分かりませんが、出雲市長の岩國哲人さんが自動販売機撤論を出して物議を交わしました。岩國哲人さんは色々言われておりますが、環境問題には正面から取り組もうとした未来志向の方だったと思います。
愛華が書いていた先程の作文のように、一人ひとりがこの環境の問題に関心を持っていただかないと、日本はゴミの山になります。私は特にゴミを減らす事をご家庭の中で話し

国連で受賞した少女の物語

講演 (鳥根県第二宗務所布教委員会・いずも曹青会合同研修会より)

「あへんあへんあへんあへん」③

テクノ経営総合研究所代表取締役

愛華の父 坪田 正

合っていたのだと思います。

あまり包装している物は買わないとか。新鮮なものをすぐに食べるとか。三世代の家にして浪費を押さえるとか。色々工夫があると思います。

合成洗剤も環境を害します。ちょっと高くても環境に優しい洗剤が今は有りますから、少しでも環境に優しいものを探してみてください。

最近では環境を守る本や、製品が回収しております。近所の方でこの様な環境を大切にしている話を作った皆さんで環境を守ることを考えていただきますと思います。

私達一人一人が環境について本当に考えなければ、もうすぐ、「地球が歌わなくなる日」が来るのです。

一人ひとりが協力し合えばまた、地球が歌い始めるのです。

この環境問題は人類の救急の課題なのです。

この環境問題は人類の救急の課題なのです。

「美しい地球が
できればいいです。」

愛華が小学校六年生の十二月二十三日、何故か愛華は一日学校を休んでまでも、一人で飛行機に乗って大阪にいる私に会いに来ました。亡くなる三日前のことです。

そして、この日が愛華との最後の別れとなりました。今にして思いますが、愛華はこの時すでに遠くへ旅立つ事を自ら知っていたのかもしれない。

お婆さんの話では、愛華がどうしても私に会いに大阪に一人で行くという事で心配して、愛華にこっそりおこずかいをあげたそうです。でも愛華はおこずかいを使わずにもって帰ってお婆さんにこのまま返したということです。

そして十二月二十五日の夜、十一時頃に宿題の「地球の秘密」が出来



八八〇円

「地球の秘密」
(愛華ちゃんが書いた環境本)



「愛華、光の中へ」 一五二九円
(愛華ちゃんのお母さんの著書)

ご注文は「地球環境平和財団」へ
TEL 〇三・五四四二・三一六一
FAX 〇三・五四四二・三四三一

上がったそうです。そして出来上がった作品に愛華は、「先生が作品の最後に必ず自分の感想を書いておきなさいと言われたから。」と、言っただけを書いていたそうです。この後書きにこう書いておられます。

「この本を作って、私はアフリカや東南アジアの人のことを考えました。東南アジアなどでは、私より年下ぐらいの子でも、働いています。勉強もできなくてかわいそうです。」

そういうことがなくなるには、戦争をなくしたりすることが必要だと

思います。私は学校へ行って勉強ができるし、帰る家があつて幸せです。

私はもっと勉強して、富める国や貧しい国の差を無くしたいです。私は医者になって、いろいろな人の命を助けたいと思います。

これは環境についてなんだけど、私一人ぐらいという考えはやめようと思います。それを世界中の人がすれば一発で地球はだめになると思います。

みんなで協力しあつて、美しい地球ができればいいです。」

この後書きを書いてその二時間後、愛華はこの世を去りました。普段



チューリップ畑の愛華ちゃん

は健康な子でこれという病気が有ったわけではありません。突然の脳内出血でした。家内は、一時過ぎに「お母さん。」という大きな声で起こされた

そうです。「どうしたの。」と聞きますと、「頭全部が痛い。」と言ったそうです。そのうちにすうすうと寝息をたてて寝てしまったようですが、その寝息がいつもと違うので至急医者を呼んだそうです。しかし、医者に来ていただいた時には呼吸はもう止まっておりまして、脳死状態であつたといひます。

「みんなで協力しあつて、美しい地球ができればいいです。」
この文字が愛華が最後に書いた文字です。この様な思いできつと、愛華は今もこの地球を見守っていることだろうと思ひます。

そして、愛華の地球環境への思いが世界中に語り継がれて行く今日の姿を見て、私は、「愛華にめぐりあえてありがとう。」と、言つております。また、言い続けたいと思ひます。

愛華の事で、また地球環境の事で、私に役立てる事がありましたらまた呼んで頂きたいと思ひます。
本日は、私のつたないお話を長時間、聞いて頂きまして誠に有り難うございました。

終わり

「一人でも多くの方へ」

曹洞宗島根県第二宗務所
所長 佐瀬道淳



坪田氏は一秒の時間も惜しむように、細かいデータ駆使してお話下さつたが、その迫真の力は流石に世界を駆け巡つて環境問題に取り組んでおられる人ならではのものです。聴講した私共にもう一刻の猶予もないのだよ、何をぐずぐずしているのか、今すぐ行動に立ち上がるしかないのだよ、と強く訴えられたものであつた。

日本人は熱し易く冷め易い。然し愛華ちゃんの灯した環境問題の「ともしび」は不思議と力を保ち、いや愈々巨火となりつつある。

今また愛華ちゃんが生まれ育ち、そして逝つた斐川の地に愛華ちゃんを追悼し、一方では環境のメツカになるような公園建設の話も持ち上がつている。是非立派に完成することを願つてやまない。

子供は親を鏡に育つよね。人間は、地球を鏡にして生きなくつちやあ。

愛華の言葉



二〇〇〇年環境特集

(中国曹青山口大会講演会より)

「地球環境の実態を知る」③

「ネットワーク地球村」代表 高木善之

江戸時代までさかのぼらなくてもせめて30年前のエネルギー生活で何とか知恵を出し合えば、環境破壊を防ぎながら自然とうまくつきあって行けるのではないかと考えて「持続可能な社会」「地球村」の実現を提唱しています。

持続可能な社会を提案

私達が文明や進歩発展と呼んでいるものはみな不自然な事をしていっているのです。自然な生活とは自然が許してくれる範囲の事なのです。自然が許容してくれない文明は全て崩壊します。これまで地球に現れた偉大な文明というものは全て崩壊しました。それは自然が許容してくれなかったのです。現代の文明もその崩壊の兆候がすでに表れております。このまま科学の力だけに頼っておりますと過去の文明のようになる事でしょう。ですから私はこの自然が許容する範囲のところまで私たちの生活を戻すべきだと提案するのです。自然と調和できるところまで生活を戻すべきだと提案するのです。

これまでにあった大きな文明の崩壊のひとつの原因は森林破壊と考え



られております。例えばレンガを焼くためには大量の木材が必要です。大きな都市が出来るほどに森林破壊がなされ周囲の土地も荒れて来ます。このようにして幾つもの文明が崩壊しました。

しかし、日本の江戸時代は、人口三〇〇〇万人で自然と共存していました。江戸時代は自然が修復可能な範囲の環境を破壊しありませんでした。これが「持続可能な社会」です。しかし私は、江戸時代までさかのぼらなくてもせめて30年前のエネルギー生活で何とか知恵を出し合えば、環境破壊を防ぎながら自然とうまくつきあって行けるのではないかと考えて「持続可能な社会」「地球村」の実現を提唱しています。また皆さんもご存じのとおり、世

寺院用仏具の製作・販売
寺院建築の企画・施工

株式会社

しゃじ

宗宝セット 正法眼藏 販売中



宗宝セット
¥1,500,000

↓
¥750,000



正法眼藏
¥1,770,000

↓
¥750,000

〒010-0956 秋田県秋田市山王臨海町3-37

☎ 018-865-6077

FAX 018-864-1093

の中の全ての戦争は正義感によって起こっているのです。全ての宗教戦争は危険な神によって起こされているのです。ですから私は仏教は宗教ではないと思っっているのですが、正義感を持ったものは必ず壊されます。偉大なる神を祭るものは必ず主人のために戦います。それが過去の宗教戦争の姿です。そこで私は「非対立」の平和運動を環境の運動と共に唱えております。

私の昔の思い出

私の小さい時、こういう事がありました。近所の人達がある家のおばあさんの家に集まっておりまして。皆んなおばあさんの家の枕元で別れを告げておりました。私も、「お前もおばあさんにかわいがつてもらつたのだから挨拶しなさい。」と言われました。そして枯木の様な手を握つて、

「おばあちゃん。おはぎおいしかった。おばあちゃん有りがとう。僕、大きくなつたら頑張つて昆虫学者になるね。」

と言いました。このように死んで行く人が昔は身近にありました。

またある時、昔、産婆さんをしていたお婆ちゃんが亡くなりました。私は年をとつて弱つていたお婆ちゃんを馬鹿にした事がありました。その時、近所の男の人が、

「お前は何という事を言うのだ、このお婆ちゃんはその村の子供たち皆んなのお母さんやで、そのお母さんになんちゅう事をいうん



次号に続く

や。」
こう言われてしかられた事がありました。
私が言いたいのはこのような昔の失われた温かい社会を現代にもう一度つくりたいと言う事です。
今のお爺ちゃんお婆ちゃん達はみんな多くは病院で死んでいます。
私は一年間、病院で全身骨折で入院しておりました。その間に沢山のお爺さんお婆さんが死んでいきました。そのお爺さんお婆さん達は枯れ木のように死んでいったのではありません。点滴などの過剰な医療に疲れて家に帰りたいと叫んで死んでいった人が多かったです。
あるお爺さんが私に言いました。
「あんな、科学者やつたらな、はよう世の中を何とかしてくれ。みんな生き方がおかしい。こんな所で死んでは死んでも死にきれんわ。」
そして今、私はこのお爺さんとの約束を果たしているのです。

東武鉄道グループ
東武トラベル

運輸大臣登録旅行業第57号 社日本旅行業協会正会員

東京第二営業部	東京都墨田区錦糸3丁目2-1 (アルカイースト)	〒130-0013 ☎(03)3622-1641(代)
札幌支店	札幌市中央区北2条西3丁目 (敷島ビル)	〒060-0002 ☎(011)221-6781(代)
仙台支店	仙台市青葉区本町2-1-1 (安藤本町ビル)	〒980-0014 ☎(022)222-4910(代)
名古屋支店	名古屋市市中村区4丁目8-12 (菱信ビル)	〒450-0002 ☎(052)581-4001(代)
大阪営業部	大阪市北区西天満3-13-20 (ASビル)	〒530-0047 ☎(06)6311-8001(代)
福山支店	福山市三之丸町1番1号 (福山東武ホテル)	〒720-0066 ☎(0849)23-2000(代)
福岡営業部	福岡市博多区博多駅東1-1-33 (はかた近代ビル)	〒812-0013 ☎(092)473-5256(代)

特集

禅のつどい中央研修会講演



演題「今が大事」

「父、相田みつをを語る」

②

講師 相田みつを美術館館長 相田 一人

次に、「願」と言う作品です。父の上に兄が二人おりまして、先程お話しましたように、相次いで戦死しました。そのことが父の生き方を大きく左右いたしました。

「その二番目の兄が戦争で亡くなった時の事を父はこのように回想しています。」

「自分が死ぬと、その知らせが日本へゆくな。おふくろやおやし、弟達が、それを聞いてどんなに嘆くことか、いま、死んでゆく自分にとって、そのことが一番辛い。戦争は人間の作る最大の罪悪だなあ……」

「こういう事を「願」として父は生きていたのだと思います。では実際には父はどの様に生きていたのでしょうか。次の作品を見て頂きたいと思います。」

むりをしない
なまけない
わたしは弱い
人間だから

「この作品は、父の生き方そのものであったような気がします。」

父は決して、体も精神も頑健な感じではありませんでした。そういう父でしたから、何とか仕事をして生きてゆく為にはどうしたら良いかと言うことを常に考えていたものだと思います。これが父の生涯の姿であったのではないのでしょうか。」



©相田みつを美術館

「これは、今から四十数年前、中国で戦死した、私の兄の最後の言葉です。兄の戦友が、内緒でよこした手紙でわかりました。二人の兄達は、弟の私に、いつも人間としての生き方や夢を語ってくれました。二人の亡き後、それはそのまま、私の「願」となりました。「願」とは、自己中心的な欲望ではなくて、仏様のよろこぶ生き方のことではないかと思っています。」

◆ 営業品目 ◆

寺院専用各種記念品・慶弔用品・御布施用品・お供物品
その他寺院用品全般・結婚式引き出物・香典返し用品
企業及び商店PR用品・販売促進品・ギフト用品全般・名入れ・包装のし掛け



わげんどう
和顔愛語の和顔堂

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-14-14

TEL 03-3794-1100
FAX 03-3794-1107
TEL 0120-7676-00



和顔堂に足らぬもの三つ

あいがたいと言う心
おかげさまと言う心
もったいないと言う心

次は「七転八倒」と言う作品です。これも父らしい作品の一つです。

七転八倒

つまずいたり
ころんだり
するほうが
自然なんだな
にんげんだもの

(次が父の解説です)

「古い昔の中国の話です。

大塚院可弘禪師という人に、ある修行僧が聞きました。

「この道さえ歩いて行けば、絶対にまちがいのない真実の道とはどういうものですか？」

可弘禪師が答えました。

「七転八倒」

七転び八起きじゃありません。転びつばなし、倒れつばなし。つまり、失敗の連続。それが真実の道だ、というんです。」

この作品はよく美術館に飾ってあるんですが、「七転八倒」を「七転び八起き」と間違える方が沢山いらっしゃいます。「これ、七転び八起きの間違いではないですか」と、時々聞かれます。「七転八倒」人生

は失敗の連続と言う意味です。私の父もこのような生涯だったかと思えます。

父は十七歳のころから短歌を勉強しております。父の作品が短いのはこの短歌の影響があるのでしょう。

短歌を勉強し始めた頃に、同時に書の勉強もしております。父は若い頃の腕の達者な若手書家と評価されていた時があります。現在も続いておられますが、「毎日書道展」というコンクールがあつて、そこでもいつも入選をしております。ですからそのまま続けていけば審査員になっていたのではないかと言われています。

しかし、父はそういう伝統的な書の世界にあきたらず、独特の書体を作り出してゆきます。

その書体のことについて父は、当時の書の世界ではいくら頑張ってもその流派の師匠を超えることが出来ない様なくみになっていたと言います。私の父はそのことに疑問を持ちまして武井老師に質問したそうです。その時に老師が言ったことが、

「師匠は弟子に真似をさせないし、弟子は師匠の真似をしない。」

そう言う事を、武井老師から教えていただいたそうです。その事が、自分の書の創作の方向性を見いだしてゆくきっかけになったといえます。

それではもう一度、先程のNHK「このころの時代」から父の話の続きを見ていただきます。

「(武井老師は) 弟子に、わかりやすい言葉で表現しようといつも頭にあつたのでしょね。その師匠から聞いたものを、私は自分だけが聞いて懐にしまっていたのでは勿体ないと思つたんです。何とかして師匠から聞いたものを周りの人に伝えたいという欲求が常にありましたね。」

それからね、二人の兄が相次いで戦争で亡くなりました。この二人の兄が喜んでくれる生き方とは何だろうかといつも考えていました。二人のあんちゃんが生きていてくれたら、何と言ってくれるだろうかといつも自問自答してました。ですから私は苦しい時もこの二人の仏様といつも一緒にいます。そして良いことが有ると、この二人の仏様が手伝つてくれたのだなと思つています。」

次号に続く



相田みつを美術館

〒104-0061 東京都中央区銀座5-2-1
銀座東芝ビル5階 ☎(03)3575-0481
休館日 月曜(日曜、祝日は開館)

「人間だもの」



「ひとりしずか」



日めくりカレンダー

ビデオ「相田みつをの世界」

美術館通信販売ご案内 (03-3575-0512)

曹洞宗で読むお経の語句意

④法華経『寿量品』を読む

今ここで

仏を確かめる



中野東禪

仏教講座

妙法蓮華経

如来寿量品第二十一

(私訳)

この故に、汝等よ、如来の滅後において、応に一心に受持し説誦し解説し書写して、説の如く修行すべし。

所在の国土に、若し受持し説誦し解説し書写して説の如く修行するもの有らば、若しくは経巻所住の処にても、若しくは園の中においても、若しくは林の中においても、若しくは樹下においても、若しくは僧坊においても、若しくは白衣の舎にても、若しくは殿堂に在りても、若しくは山・谷・広野にても、この中に皆応に塔を起てて供養すべし。

所以は何ん。当に知るべし、この処は即ちこれ道場にして、諸仏はここにおいて阿耨多羅三藐三菩提を得、諸仏はここにおいて、法輪を転じ、諸仏はここにおいて、般涅槃すべしなり」と。

(簡訳「曹洞宗読経偈文全集」より)

神力品は最近はまだあまり読まれなくなってきた。しかし、法華経は禪の精神的背骨です。道元禪師の禪

では、「方便品」の「唯仏与仏」が「正法眼蔵」の「唯仏与仏」となり、あるいは「法華転法華」などもかいていて、紀野一義先生などは「正法眼蔵」を読まなければ法華経は分らないとまで言うのです。

さてこの品は、仏の説法は「広長舌を出して無量の光を放ちたもう」で、何時でも何処でも誰でも聴きとることが出来るというのです。

「世尊の分身の在す所の国土の滅度の処」とは、どこでも皆な仏が涅槃を実現している所という意味です。

そこで仏の心を実現して行くのは衆生・菩薩の修行なのです。だからそこで「受持し説誦し解説し書写して、これを供養せん」と言うわけですね。

登場するお釈迦様と多宝如来または多宝仏の塔というのは、人間釈迦は人間の世に出現して人間の「相をした仏」であるが、お釈迦様を仏陀たらしめているのは「悟り」と言う本体で「体の仏」なのです。そのさとの本体は、菩薩が修行するところに確かめられるというわけですね。

谷口法衣仏具店ならではの...

技の粹

御法衣、御袈裟、御仏具、荘厳具、記念品



両大本山御用達 曹洞宗専門
株式会社 谷口法衣佛具店

〒606 京都市下京区高辻通麩屋町東入
電話 京都075(3551)9741代
FAX 京都075(3551)9692
梅花講御指定販売店

借金苦の中でもそこで修行をするのです。なぜなら、その所が仏の発心・修行・菩提・涅槃の場所だということです。つまり、そこで仏の声を確かめつつけるのが仏道修行だというわけです。

道元禅師は、建長五年八月(一二五三年)京都の覚念の屋敷で、ある日床から出て、この経を読みながら、室内を修行したという。それは、

「若しくは経巻所住の処にても、若しくは園の中においても、若しくは林の中においても、若しくは樹下においても、若しくは僧坊においても、若しくは白衣の舎にても、若しくは殿堂に在りても、若しくは山・谷・



広野にても、この中に皆応に塔を建てて供養すべし。所以は如何。まさに知るべし、この所はすなわち道場にして、諸仏はここにおいて阿耨多羅三藐三菩提を得、諸仏ここにおいて法輪を転じ、諸仏ここにおいて涅槃すればなり。」

と、言うところでした。痛になつても、借金苦の中でもそこで修行をするのです。なぜなら、その所が仏の発心・修行・菩提・涅槃の場所だということです。つまり、そこで仏の声を確かめつつけるのが仏道修行だというわけです。

最近、葬儀に関するトラブルが多くなっているという声を聞きます。葬儀というのは死者を飾り、死者を送るためにあるのだが、私たち自身が死を悼み、死者の命や心を引き継いでよかつたと思えるような(良き仏への供養の)再生産を行うためのものでもある。

したがって、中には葬儀を行うことで後悔をする人だつてたくさんいる。

る。意にそぐわない形で葬式を行ったり、十分やれば満足すると思いつみ、派手な葬儀を必要以上に要求してしまつた場合などだ。

結果的に私たちを苦しめるのだつたら、どんな立派な葬式でもそれは悪い葬式と言わざるを得ない。大切なのは、みんながよかつたと思えるよう、後悔を作らない形で死者を見送ることだ。

ポストモダンの社会に生きている私たちは、人それぞれの価値を認めていくしかない。しかし、信念がないと、後で苦しみや愚かさを見いだす結果になってしまうことだけは、知っておいてほしいと思う。

この様に私達は、儀式をするときも、何をするときも、いつ何処でも仏の声を確かめながら仏道修行を続けなければならない。「如来神力品」は言っているのです。



〈梅花流法具指定販売店〉

法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具



株式会社

安藤

本社
〒905-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入

東京店
〒105-0014 東京都港区芝2丁目15番2

☎ 0120-29-8161 (法衣部)
☎ 0120-29-8165 (仏具部)
☎ 0120-19-8168 (贈答品部)

福岡店
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7
☎ 0120-3232-09
☎ 0120-2143-22



慕古を語る

チャンペラ経は有難くない

小倉玄照

古叢林と言われた宗侶たちは『理趣分経』を百日間読まされたと言います。白文の『理趣分経』も一日一回百回読み込めば、四十分以内で読み上げあげることが出来るようになります。その時、ご祈祷のありがたさが臍おちします。

私は、若い頃、高校の国語教師をしていました。

教科書を読んでいて、生徒に質問をします。下調べをして来ないと、私は厳しく叱っていましたから、生徒は、予習をよくしてきて誰もがそれなりの答をしていました。

しかし、しばしば自分でもよく判っていないのではないかと思われる型にはまった表現で答えをする生徒がいました。そんな時、私は、「その答えは何だ。チャンペラに書いてあったとおりみたいだな」とたしなめます。

生徒は、頭をかきつつ、口をもごもごさせてそれを肯定したものです。「チャンペラ」は、いわゆる「参考書」のことです。「参考書」は、

昔から堂々と学校に持参するのをはばかられた存在で、それゆえに隠語で呼ばれることが多かったようです。「さんもん」とか「あんちよこ(安直)」とかいうのもそれです。「チャンペラ」は、ベラツと項をめぐるとチャンと書いてあるからというので、「ペラチャン」と称したのもとかも知れませんが。

しかし隠語としての語呂の良さは、チャンペラの方が抜群でしょう。いつの間にかひっくり返して用いられるようになったようです。

生徒がチャンペラに頼るのを非難しながら、実は、教師もまた「指導資料」という名のそれを結構重宝していました。教材研究のおりに資料として活用するためのものですが、

このごろは、単元ごとに別綴じの冊子になっていたりするようですから、二日酔いの日

などには、薄い冊子の教師用のチャンペラを教科書に挟んで教室に赴く者なしとしないようです。

もちろん、そんなことをいつもやっていたので、いい授業が出来るはずはありませぬ。生

徒からも馬鹿にされてしまいます。チャンペラ頼りの教師は、やっぱり三流教師と言つてよいでしょう。さて、なぜこんな話を始めたかと申しますと、僧侶もまたチャンペラ頼りで檀信徒の目をごまかしている者が多いのではあるまいかという気がするからです。

引導法語用例集などという本の広告が出れば、早速に購入してみる私が見ては判っています。しかし、それにしてもこの頃の僧侶相手のハウツウものの氾濫は目に余ると顔をしかめたくなっているのは私だけででしょうか。法話のチャンペラもあふれていま

『道元禅師の慕古』

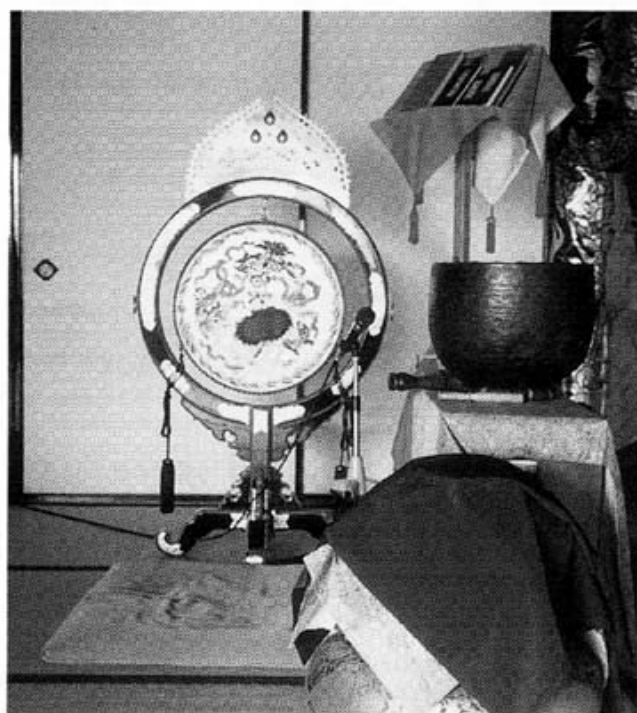
古佛の生きざま今に

小倉玄照著

現代に復活させなければならぬ道元禅師が理想とする人間の生き方と生活の形を探る書



国書刊行会発行



す。目的別やテーマ別、さらにこのごろは、一分、三分、五分と時間の長さに対応する法話までありとあらゆる種類のものが出版されています。問題は、話術だけと言った風潮すら感じられるほどです。本来の法話は和尙一人の人生修行の味わいを語って聴聞する人の心を魅了するものであったはずです。

しかしまあ、説教や法話の類は、仏道修行の本筋ではないと考えることも出来ます。チャンペラに頼っていても許される側面があるのです。では、坐禅や誦経・看経の世界ではどうでしょうか。私達がお布施を

頂戴するのは、坐禅修行が日常的にまがりなりにも行ぜられ、わが寺のご本尊にタダのお経をしつかり読んでいるからだ、と言うことをこの頃失念してはおりはしないかと気になります。

ダラニの類は、ルビ付きの經典で読んでほしいと私は思っています。しかし、漢訳經典は、昔の出家は、白文を音読していました。今でも御本山で配経して観音経や寿命品を読む時には、ルビのついていない白文を用いています。

本庁も「日課聖典」のルビの付いていない経本を宗侶用に作成しておくべきだと思います。

(今、曹洞宗日課聖典の漢訳部分にルビのないものは出版されています。漢訳經典をルビ付きで読むのは、チャンペラを教科書に挟んで授業をする教師と同じでは

ないか、という気がします。真言宗の人は「理趣経」を日常的に読んでいます。彼らは、白文の「理趣経」をどどん読み込んでいきます。

この間、通信販売のカタログを見ていたら、私達が祈祷に用いる最高の經典「理趣分経」が、ルビ付きで販売されていました。(稽古用のチャンペラ本ではない) 大般若会で、随喜のご寺院が転読している真中で大導師はカタカナのルビを頼りに「理趣分経」を読んでいる図はちょっといただけません。

立職の時、古叢林と言われた宗侶たちは「理趣分経」を百日間読まされたと言います。白文の「理趣分経」も一日一回百回読み込めば、四十分以内で読み上げあげることが出来るようになります。その時、ご祈祷のありがたさが臍おちします。

チャンペラ経の「理趣分経」で御祈禱料を買っていたのでは、祈禱する側に罰が当たると思いますが、青年宗侶の方々には、如何思われますか。



音程の悩みに
これだけで解消!!

詠讚歌トレーナー

携帯便利な
サイズ

メトロノーム
内蔵

幅300mm×奥行210mm×高さ45mm

幅210mm×奥行100mm×高さ30mm

唱えるだけで微妙な音程の狂いが
音と光でた易くわかる!!

有限会社 水光社
〒171-0014 東京都豊島区池袋4-2-11 OAビル8F
TEL. 03(3986)563(代表) FAX. 03(3986)8832

お寺散策

伏見区久我本町3-1

京都市
曹洞宗

妙覚山 誕生寺

道元禅師誕生800年の聖なる地

(名神京都南インターより車で5分)



ここ京都伏見区久我の郷は、その昔、久我家のお屋敷があった処といわれております。

とくに、誕生寺境内は久我家の旧跡と伝えられ、境内にある産湯の井戸は、道元禅師がお生まれになられた時にお使いになった井戸としてその昔からこの地に伝えられておりました。

大正の初期に日置黙仙禅師が、久我家の当主通久候と歴史を研鑽され、政財界の方のご協力のもと、この地を道元禅師様のご生誕の聖地と定められました。



道元禅師ご自作と伝えられる御尊像

道元禅師幼少の像が

本堂前に立つ

道元禅師は幼少の頃から神童の誉

誕生寺は大正九年(永年寺六十六世)日置黙仙禅師が高祖大師
ご自作と伝える越前(福井)武生の郷の妙覚寺とご尊像をその寺
号と共にこの地に移し入仏遷座したものです。



道元禅師 幼少の像

れ高く、四歳の時に中国の詩集を読まれ、九歳の時にはすでに難解な仏典を読みこなし、囲りの人達から「文殊丸」というあざなを付けられていました。

その道元禅師の幼少の頃のお徳にあやかり、参拝される方の学業成就、心願成就を願って建立されております。

道元禅師様産湯の井戸

ここ誕生寺の境内地は久我家の旧邸の在った所と伝えられ、その昔から道元禅師様がお生まれになった時に産湯にされた井戸として語り伝えられております。

ご両親の酬恩塔

道元禅師ご生誕八百年の嘉辰を迎え、ご両親の供養塔を建立して父母のご恩に報いる酬恩塔が本堂の横に在ります。

お母様の宝篋印塔は、市内の北村家に国の重要文化財として保存されています。誕生寺の酬恩塔の宝篋印塔はそれを原寸復元したものです。



産湯の井戸

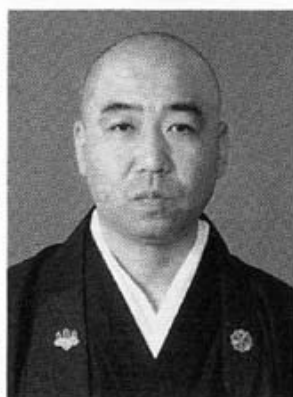


ご両親の酬恩塔

新年のご挨拶

青年宗侶の高祖禅師御生誕八〇〇年祭

全曹青会長 荒木正昭



明けましておめでとうございます。西暦二〇〇〇年という節目の年、宗門においても高祖禅師御生誕八〇〇年という年に我々青年宗侶が何を考えどんな行動をするか、思い深い年の明けとなりました。

テレビや新聞等の命を怪視する事件、さらに宗教団体による問題の増加、豊かな生活の中で心の迷いを救うべき宗教によって逆に迷わされていく現実。この現実を真っ直ぐ受け止めなければならぬ。

各寺において檀信徒の方々が、若者達が人信し誤った信仰心を持ち、犯罪を犯し、周りの人々に迷惑をかける宗教の問題をテレビ等で知り、「若いお坊さん達がもつと頑張つて

よ！」と、期待の声を掛けて下さる方がどれだけおられるか。自問自答をして私自身はずかしくなる思いである。

もちろん葬儀や法事も大切ではあるが、御生誕八〇〇年を迎える今年こそ、もう一度個々に高祖様の御心を見つめ直し原点に帰ることこそが青年宗侶の八〇〇年祭だと思ふ。

精神生活を見つめる行事として、三月一日には「禅文化学林・四国大会」が「心の癒し」と題し、医療・介護に焦点を当て修行される。単なる行事としてではなく一人ひとりが自己を見つめ直す機会となり、行の場となって頂くことを期待してやまない。

お釈迦様をはじめ両祖様、そしてそれぞれのお祖師様の素晴らしく有り難い御教えがあるのだから、そのお手本にならぬ青年僧らしさを心に一つ一つ行じて行くことが大切だと思ふ。

石見曹青発

「高祖大師御生誕八百年慶讃法要」厳修

平成十一年十二月十日

島根県浜田市観音寺において「高祖大師御生誕八百年慶讃法要」が、石見祖門会・石見曹青会共催にて、島根第一宗務所管内関係諸団体の後援を受け、実行委員会が結成され、所内各寺院・寺族・檀信徒の参集により厳修されました。

慶讃法要導師は実行委員会会長、津和野永明寺、萩野克忠老師がおつとめになりました。

当日、大本山永平寺専使として高祖道元禅師七百五十回大遠忌局長、山田康夫老師、庶務部長、齋藤賢隆老師もおいでになり、山田老師には「光を仰ぐ」の御法話を頂きました。

石見曹青会は法要面を担当し、数回の研修を経て「出班・灌沐」を行いました。御生誕八百年正當及び七百五十回大遠忌に向け、さらなる研修を重ねて行くよう決意しております。

石見曹青会会長 森山容光記



萩野克忠老師



山田康夫老師

平成十一年度

第二回

平成十一年十一月十六日

評議員会報告要旨

全国から各単位曹青の評議員が集まり活発な討議を交わした

会長挨拶

六月に新しい執行部が発足いたしました。これまで色々と討議を重ねてまいりました。これから大切な諸行事が控えております。一月十七日の例年の神戸慰霊祭、三月一日の禅文化学林等があります。ここに集まりの評議員の皆様は各県の代表です。皆様方のご意見をお聞かせ願ひ、ご討議お願いいたします。



会長 荒木正昭

総合企画事業研修委員会報告

今年の「禅文化学林」は平成十二年三月一日、四国地区曹洞宗青年会のご協力をいただき愛媛県今治市で開催いたします。



総合企画委員長
高原淳尚

テーマは「青年僧に望む心の癒し」として、医療や科学技術が革新的に進む現代において、人の心のケアの重要性について再認識をしたかと思っております。

広報委員会報告

今年度は、すでに八月五日(二〇六号)と十一月五日(二〇七号)の会報が二回発行されております。その中で八月の二〇六号が第三種郵便物第一号の会報であります。第三種郵便物取得したことにより、安くなった郵便料金で昨年まで全国寺院二回の発行を今年から四回発行できることになりました。



広報委員長
池上幸秀

記事の内容といたしまして、毎号何らかの特集を組み、若い僧侶が一般社会の布教に役立つ記事、各単位曹青の地域での活動や取り組みを紹介して参りたいと思ひます。

★新企画

【営業品目】

- キャラクター御守り製造販売
- 葬祭用加工幕製造販売
- 格天井絵漆盛印伝加工
- 各種天井絵創作加工

【営業品目】

- 御法衣・創作から製造販売
- 京仏具・地方仏具販売
- 各種消耗品販売
- 御念珠・記念品販売

【営業品目】

- 御法衣・ドライクリーニング修理修復
 - 御法衣・寸法直し
 - しみ・かびおとし・掛衿の色付け
- ……等々



有限会社

草桶

法衣仏具店

〒616-8322 京都市右京区嵯峨野芝野町35
TEL.075-862-2345 FAX.075-862-2356 フリーダイヤル 0120-88-3992

青少年教化研究委員会報告

布教教材「五観の偈マグネツトシート」を教化伝道に役立てて頂きたく、皆様に広くご紹介いたしております。宗報の十月号、十一月号、「そうせい」十一月号に紹介して、申し込みの注文を掲載しております。またどうしても今年中に送っていただきたいという要望者に応え、一万枚を今年中に発送できるように致しております。

また、禪の集い等に使っていただける布教教材、「しおり」の制作を検討しております。



青少年教化研究委員長
岡本大英

ボランティア研究委員会報告

ボランティア研究会では、「トルコ大地震緊急支援」・「台湾大地震緊急支援」のボランティア情報を全曹青ホームページに掲載しました。また、各単位曹青のボランティア活動を「そうせい」紙面に紹介いた

しております。今後も皆様のボランティア活動の支援になるような情報を提供できるように致したいと思っております。

それから、緊急災害時に対応できる「全曹青ネットワーク名簿」の制作を検討しております。



ボランティア研究委員長
掃部克重

授戒会研究委員会報告

ただいま「葬祭シンポジウム」開催を計画しております。

現在、日本仏教の在り方（葬式仏教）が、ある種社会から批判を浴びている昨今、今までの「葬祭」の在り方で、これからの宗門の未来はあるのだろうか、と考えるようになったのが、このシンポジウムの発案であります。

時期としては、「禪の集い中央研修会」場を利用して宗学者、葬式仏教研究者をお招きして評議員の皆様と一緒にこの問題を討論していきたい。

パソコン通信研究委員会報告

パソコン通信研究会では、皆様に簡単にアクセスいただけれますように全曹青のホームページのアドレスを新しくしました。また、最新技術を使った印象に残るホームページ作りを目指しております。

そして、「そうせい」・「曹青通信号外（宗報）」の掲載、ボランティア委員会の情報掲載、各管区・単位曹青の行事案内等の掲載、公開可能な全曹青のデータをライブラリに登録する作業を行っております。

今後も皆様に全曹青のホームページをご活用をいただけますよう、多くの情報を迅速にする努力をして参りたいと思っております。



授戒会研究委員長
高辻康文



パソコン通信研究委員長
佐藤道昭

墓石工事全般・環境石材
造庭園施工・土木工事業



泉山石材株式会社

〒031-0023 青森県八戸市是川坊坂1-2
代表 (0178) 96-1414
FAX (0178) 96-5716

第十四期会長選考委員会報告

平成十一年十一月十五日に選考委員会を発足いたしました。

選考委員は、

選考委員長・永原裕晃（東海管区理事）、選考副委員長・竹内文成（近畿管区理事）、選考委員・荒木正昭（十三期会長）、各管区理事の十人です。

後ほど各単位曹青に公報致しますのでよろしくお願いいたします。



選考委員長
永原裕晃

全日仏青より

今年度より、全日仏青の担当を致しております。私の担当は社会問題研究委員会を担当して欲しいと全日仏青より依頼がありましてその配属になりました。

社会問題研究委員会は戒名問題、地球環境、ビハラなどを研究する部会です。今後、全日仏青関係のお知らせがありますらご報告させていただきますのでご協力お願いいたします。



副会長 大橋良雄

会計報告

昨年度より各会員数×五百円の徴収をお願いしております。後ほど各単位曹青宛に振り込みの用紙を同封いたしますのでよろしくお願いいたします。

お手元に配布した評議員名簿に会員数を提示しております。会員数、評議員名の変更があります場合はお知らせ下さい。



会計 小島宗彦



副議長(宮城) 志水賢宏
議長(兵庫第二) 平岩浩文

質疑の総括

評議員の皆様から、これまでに全曹青が発刊してきた各委員会の資料を閲覧できるようなシステムが欲しいと言う要望や、全曹青の会員からの声が反映されるように、会員の声を聞かれる情報収集をどんどんやって欲しいとの要望がありました。

これにつきまして、パソコン通信研究委員会では公開可能な全曹青のデータをホームページのライブラリに登録する作業を進めております。また会員の声の収集は、インターネットや「そうせい」会報を通じて会員の皆様の声を頂戴したいと願っております。

それから、全曹青から配布される発刊物はなるべく単位曹青で管理し、次に引き継いでいただきたい願っております。

寺院用佛具・佛壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう 放 光

- | | | | |
|-------|-----------|-----------------|----------------|
| 本店・工場 | 〒940-0825 | 長岡市高畑町617番地 | ☎(0258)33-5644 |
| 新潟店 | 〒951-8142 | 新潟市関屋大川1-11-2 | ☎(025)233-4493 |
| 川越店 | 〒350-1124 | 川越市新宿町1-23-2 | ☎(0492)44-7741 |
| 高崎営業所 | 〒370-0046 | 群馬県高崎市江木町1179-2 | ☎(027)324-3721 |
| 長野営業所 | 〒380-0911 | 長野県長野市稲葉1980-1 | ☎(026)222-3811 |

総合企画事業研修委員会だより

禅文化学林 シンポジウム開催

青年僧に望む 「心の癒し」

平成12年3月1日 愛媛県今治市にて

平成11年度の禅文化学林を次の内容で開催いたしますので、多数ご参加願います。
医療や科学技術が革命的に進む現代において、人の心のケアの重要性について再認識してみたいと考えます。

平成
十一年度

◆主催 全国曹洞宗青年会・四国地区曹洞宗青年会
◆後援 曹洞宗四国管区・四国管区教化センター

◆パネリスト
藤原寿則先生 〔松山市 徳島西門外病院院長〕
〔富坂 仏教と医療を考へる会会長〕
〔今治 波方中央病院理学療法士〕
渡辺卓人先生 〔香川 鳴門造形主〕
〔徳島 徳島造形主〕
野田大燈老師 〔全国曹洞宗青年会会長〕
荒木正昭師 〔四国曹洞宗青年会会長〕

◆コーディネーター
宇野尚英老師 〔高知 高知曹洞宗青年会会長〕
〔今治市 瑞雲寺住持〕

◆基調講演 早川一光先生 〔専・徳島人権研究所所長〕
〔京都 森山診療所所長〕

◆シンポジウム 「青年僧に望む『心の癒し』」 — 入場無料 —

『心の癒し』

禅文化学林

☆会員の参加申し込みにつきましては、各曹青年会事務局で宿泊等を取りまとめて受け入れておりますので、お問い合わせ願います。

◆期日 平成十二年三月一日(水)

◆会場 今治国際ホテル
今治市旭町二の三の四
TEL (〇八九八) 三六一二二一

◆日程
受付 午後十二時三十分
開会 午後一時
基調講演 午後一時三十分
パネルディスカッション 午後二時十五分
閉会 午後五時

◆事務局・問合せ先
愛媛県北宇和郡津島町三立一四〇
〒798-3351 円通寺内

「禅文化学林」係
TEL FAX (〇八九八) 三五一〇六六〇

愛媛県今治市湊町二の四の五
〒794-0003 城慶寺内
「禅文化学林」係
TEL (〇八九八) 三二一六〇四三

☆今話題のインターネットとは??

インターネットの世界を のぞいてみよう! (その10)

個人に求められる情報管理意識

情報化社会が進行し、私達の生活はとてども便利になりました。そこにはコンピューターネットワークがとてども重要な役割を果たしています。

そこで、今回は情報管理について考えてみたいと思います。

情報管理とは、コンピュータから個人情報漏洩することを防ぐことを意味します。コンピュータ上でその操作を行っているのが本人か否かというのは、IDとパスワードをもって行っているのが現状です。

銀行カードなどは、たった4桁の数字(暗証番号)で認証を行っているわけですから、生年月日や電話番号など簡単に類推できる数字を適用した場合、本人に成りすまされる可能性が非常に高いということをご承知のことでしょう。

インターネット上でも、個人の識別にはIDとパスワードという2つの英数文字による暗証を用いることがほとんどです。パソコンをインターネットに接続するときに出るID、Passworaの項目が一例です。

そのほか全国曹洞宗青年会の宗侶専用掲示板にも同様の認証を行っています。従って、そのパスワードの決め方と運用方法はきわめて重要な事項となります。

あるプロバイダから盗まれたパスワードはどんなものであったかを日経がまとめた結果は次のようになっています。

IDとパスワードが同じ(27%) パスワードが本名(21%) パスワードがID+数字(18%)
パスワードが本名+数字(17%) パスワードがIDの一部(8%) 一般単語(5%)…

宗侶専用掲示板の認証管理においても、あまりに安易なID、パスワードの場合はもう一度替えていただくようお願いしています。定期的にパスワードを変更する事もお薦めいたします。

ID、パスワードを設定する上で重要な要因を挙げるとつぎのようなことが大切といわれています。

(1) パスワードの決め方

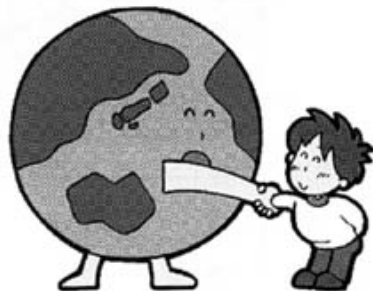
- 文字数を可能な限り長く 大文字、小文字、数字を組み合わせる
- 認証場所によりパスワードを使い分ける 記憶できること

(2) 避けたほうがよいパスワード

- IDとおなじ、寺院名、人名、イニシャル、誕生日、郵便・電話番号
- 「GWERTY…」などの、キーボード配列 辞書に載っている単語
- 7文字以下、数字だけ

(3) 日常注意すること

- 他人に教えない メモを見えるところに置かない 入力するときに唱えない
- アプリケーションに保存しない 人前での操作では気をつける

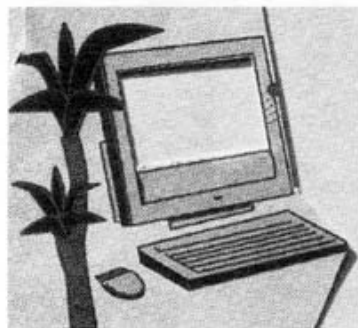


今後はネットによる口座取引やショッピングも増えていくと思います。情報漏洩・本人なりすましを防ぐ最後の鍵は各個人にゆだねられているのです。その意識を常にもつことが重要であるといえます。(不)

最後に、宗侶専用掲示板で、もしも自分のID、パスワードが不明となった場合は、インターネットの宗侶専用掲示板登録申し込みページから、氏名、寺院名等を記入の上、希望のIDの欄に「IDのお問い合わせ」と記入して送信下されば、確認の上お送りいたします。

パソコン格闘記 ～パソコンで「鉞」を表示する～

皆さんは、差定や、檀家さんの名前、戒名をパソコンで入力している時に文字が無くて困ったことは無いだろうか？今回はそんな事の対応方法について記す。



1. パソコンで漢字を表示する方法

(1) パソコンで標準で使える漢字

パソコンやワープロでは JIS 規格の第一水準、第二水準と言われる 6,879文字が標準で使用できる。残念ながら、この中には「鉞」は入っていない。従来の方法ではこれ以外の漢字は、外字 (JIS 外文字) として、作成し、登録しなくてはならない。(外字は Windows では「プログラム」-「アクセサリ」-「外字エディタ」を使用して作成する。)

(2) 新しい規格“UNICODE”

この他に UNICODE と呼ばれる規格がある。この中には、中国・台湾・韓国・日本の漢字 2 万字が含まれている。もちろん「鉞」が含まれるが、これを使えるソフトウェアが限定されてしまう。ワープロソフトでは「一太郎8」以上、「WORD98」以上で使用可能である。表計算ソフトでは「EXCEL97」以上で使用可能である。他にも使用可能のものについては確認して欲しい。

(3) 今昔文字鏡を使用する

UNICODE では、JIS 規格よりは多くの漢字を使用できるが、それでも「大漢和辞典」の文字(約五万語)を網羅できない。これも含めた文字を使用できるソフトが存在する。「今昔文字鏡」である。これは約 9 万字を収録しており、漢字以外に梵字や甲骨文、変体仮名まで含まれている。これも使用できるソフトが限定される。基本的には一文字単位でフォント名指定ができるソフトとなる。(2)で使用できた「一太郎8」、「WORD98」、「EXCEL97」での使用が可能である。また、文字の画像も収録されているので、画像を表示可能なソフトなら文字としてではなく画像として表示できる。嬉しい事に、このソフトは無償でホームページ(文字鏡研究会ホームページ <http://www.mojikyo.gr.jp>)よりダウンロードできる。

JIS 規定の文字 (これも標準の文字です!!)

UNICODE の文字の一部

今昔文字鏡の文字の一部

秉 龔 臘 攝

鉞 龕

𠄎 𠄏 吉

2. 使用する際に注意する事

(1) 字体について

1-(2)、(3)の方法では使用できる字体が限定される。毛筆体は現在のところ無理である。毛筆体については、外字を作成する以外に方法はない。

(2) データのやりとりについて

- ・外字を使用している場合、外字を移行しない限り、他のパソコンで利用する際は表示されない。
- ・UNICODE フォントが含まれるデータの場合、相手のパソコンにも UNICODE フォントが無くては表示できない。
- ・今昔文字鏡を使用したデータの場合、相手も今昔文字鏡がインストールされていないと表示ができない。(文字画像を除く)

(3) 辞書への登録

探す手間を省くため、必ず日本語変換辞書へ登録してから使用する事

3. どの方法を使うか？ (各種の方法があるが、各自のパソコンの利用目的によって選ぶべきである。)

(1) 檀家管理ソフトでの使用

UNICODE に対応しているものや、今昔文字鏡使用可能な一文字単位でフォント名指定ができるソフトはほとんどない。やはり外字を作成する他無いようである。

(2) 市販のデータベースソフト、表計算ソフトでの使用

将来的に UNICODE、一文字単位でフォント名指定に対応するようになると思われるが、現在は一部のみである。対応しているものならば使用するべきである。

(3) ワープロソフトでの使用

対応が一番早いのはワープロソフトである。データのやりとりの際に気を付ければどの方法を利用しても問題無いのではないだろうか。

管 区 だ よ り



尾木直樹先生

鳥根県益田市「三好家」において、「第二十二回中国曹青石見大会」が中国曹青連絡協議会を主催とし、全国曹洞宗青年会・中国管区内宗務所の後援を頂き、石見曹洞宗青年会が主管となり開催することが出来ました。
大会テーマを「現代を生きる」として、
「むかつく・キレル子供たちに」として、
第1日目は臨床教育研究所「虹」所長尾木直樹先生より教育評論家としての立場から、現代の中高生を取り巻く現状（登校拒否、いじめ、援助

第二十二回中国曹青石見大会開催される

「現代を生きる」

「むかつく・キレル子供たちに」

「現代を生きる」

平成十一年十月十三日・十四日

交際等)のご講演を頂き、第2日目は中国管区センター統監 松原徹心老師より宗侶の立場から、「青年僧侶が今、何をなすべきか」のご講演を頂きました。
当初、大会実行委員会において「初対面の、宗門外の講師で大丈夫なのか」という意見もありましたが、尾木先生の熱意のある講演と、松原統監老師の優しさの中にも厳しさの



松原徹心老師

ある宗教者・宗門僧侶としてのお話しに時間を感じさせない講演会になり、参加寺院にも大変好評でした。
なお、前回担当した大会後の、六年間の托鉢による大会運営準備金積み立ても、大会運営の面で大変プラスになったと考えます。大会開催に際して御法愛を頂いた関係各位に心より感謝の念を表し、大会のご報告といたします。
(石見曹青会)

尾木直樹先生

滋賀県生まれ

早稲田大学卒業

東京大学講師

教育評論家

臨床教育研究所「虹」所長



位は莊嚴5里

具 築 壇
院 建
莊 寺 仏

翠雲堂

本店 東京都台東区元浅草 4-9-14 TEL03(3842)0201
支店 稲荷町店・稲荷町駅前店・上野駅前店・等々力店
砧店・横浜店・大宮店・船橋店・松戸工場

賛助会員御芳名

(平成十一年 八月現在)

東京都	天桂寺様	喜運寺様	正法庵様	龍門寺様	築田寺様	慈光院様	高岩寺様	桂福寺様	泰宗寺様	長泉寺様	俊朝寺様	永福寺様	周慶院様	宋寿院様	梅岩寺様	保善寺様	神奈川県第一	盛徳寺様	龍門寺様	泉蔵寺様	高長寺様	永昌寺様	神奈川県第二	正観寺様	竜珠院様	長尾寺様	埼玉県第一	長光寺様	幸春寺様	高太寺様	福蔵寺様																																																																																																					
興徳寺様	富徳寺様	永勝寺様	興徳寺様	長三寺様	香林寺様	金剛寺様	松源寺様	霊樹院様	千手院様	常福寺様	埼玉県第二	曹源寺様	高岩寺様	泉福寺様	天寧寺様	龍傳寺様	永福寺様	明言寺様	龍松寺様	光明寺様	宗泉寺様	龍海院様	無量院様	海雲寺様	梅香院様	慈願寺様	建明寺様	正泉寺様	長伝寺様	実相寺様																																																																																																						
永泉寺様	竜光寺様	善長寺様	徳昌寺様	乾徳寺様	高徳寺様	豊柄院様	成高寺様	大中寺様	女性寺様	龍昌寺様	天勢寺様	天性寺様	鏡徳寺様	常安寺様	養泉寺様	吉祥寺様	大聖院様	龍心寺様	東光寺様	祥雲寺様	長松寺様	観音寺様	総寧寺様	宗胤寺様	永福寺様	宝成寺様	金剛寺様	天性院様	森蔵寺様	大慈寺様																																																																																																						
山梨県	重慶院様	能湖寺様	慶昌寺様	長源寺様	威徳寺様	廣蔵院様	長松院様	静岡県第一	盤龍寺様	貞善院様	見性寺様	桃源寺様	洞雲寺様	秀源寺様	光照寺様	然正院様	瑞龍寺様	龍泉院様	能泉寺様	泰善寺様	静岡県第二	龍雲寺様	大江寺様	慶寿院様	龍豊院様	観音寺様	源光院様	高徳寺様	宗徳院様	能雲寺様	大門寺様	正林寺様	龍雲寺様																																																																																																			
静岡県第四	蓮覚寺様	森林院様	文殊寺様	円光寺様	静岡県第一	宗安寺様	竜田院様	清涼寺様	吉祥寺様	観音寺様	宗源寺様	大泉寺様	光明院様	薬師寺様	観音寺様	常宿寺様	乾徳寺様	功徳院様	長養院様	玉泉寺様	昌全寺様	神龍寺様	宝珠院様	東陽寺様	光福寺様	桂昌院様	大応寺様	大徳寺様	龍源寺様	報恩寺様	神後院様																																																																																																					
岐阜県	本覚寺様	慈願寺様	福田寺様	春江院様	長国寺様	正覚寺様	大幢寺様	慈雲寺様	智照院様	長福寺様	報恩寺様	清榮寺様	大林寺様	正宗寺様	福寿寺様	松雲寺様	長徳寺様	永泉寺様	安心寺様	新堂寺様	宝積寺様	等観寺様	慈眼寺様	妙泉寺様	福源寺様	西光寺様	広神寺様	宝泉院様	海蔵寺様	松栄寺様	観音寺様	大雲寺様	常足庵様																																																																																																			
三重県第二	地蔵院様	大義院様	東光寺様	慶徳寺様	善光寺様	福聚院様	振宗寺様	盛光寺様	春現寺様	丈山寺様	栄春寺様	洞玄寺様	正通院様	円通寺様	臨南寺様	慈明寺様	奈良寺様	和歌山県	光泉寺様	願成寺様	善福寺様	常観寺様	永春寺様	兵庫県第二	観音寺様	瑞光寺様	徳本寺様	隆国寺様	法榮寺様	長源寺様	光雲寺様	薬師寺様	景福寺様	岡山県																																																																																																		
鳥取県	威徳寺様	円通寺様	成興寺様	円福寺様	宝鏡寺様	泉龍寺様	国泰寺様	功徳寺様	運西寺様	忠魂寺様	広沢寺様	周鷹寺様	飯倉寺様	皇徳寺様	護国寺様	福田寺様	法心寺様	覚天寺様	吉祥院様	梅翁寺様	吉成寺様	松泉院様	福蔵院様	吉祥寺様	法城寺様	正法寺様	住雲寺様	宗淵寺様	常栄寺様	北禅寺様	本願寺様	極楽寺様	鳥取県第一	鳥取県第二	鳥取県第三	鳥取県第四	鳥取県第五	鳥取県第六	鳥取県第七	鳥取県第八	鳥取県第九	鳥取県第十	鳥取県第十一	鳥取県第十二	鳥取県第十三	鳥取県第十四	鳥取県第十五	鳥取県第十六	鳥取県第十七	鳥取県第十八	鳥取県第十九	鳥取県第二十	鳥取県第二十一	鳥取県第二十二	鳥取県第二十三	鳥取県第二十四	鳥取県第二十五	鳥取県第二十六	鳥取県第二十七	鳥取県第二十八	鳥取県第二十九	鳥取県第三十	鳥取県第三十一	鳥取県第三十二	鳥取県第三十三	鳥取県第三十四	鳥取県第三十五	鳥取県第三十六	鳥取県第三十七	鳥取県第三十八	鳥取県第三十九	鳥取県第四十	鳥取県第四十一	鳥取県第四十二	鳥取県第四十三	鳥取県第四十四	鳥取県第四十五	鳥取県第四十六	鳥取県第四十七	鳥取県第四十八	鳥取県第四十九	鳥取県第五十	鳥取県第五十一	鳥取県第五十二	鳥取県第五十三	鳥取県第五十四	鳥取県第五十五	鳥取県第五十六	鳥取県第五十七	鳥取県第五十八	鳥取県第五十九	鳥取県第六十	鳥取県第六十一	鳥取県第六十二	鳥取県第六十三	鳥取県第六十四	鳥取県第六十五	鳥取県第六十六	鳥取県第六十七	鳥取県第六十八	鳥取県第六十九	鳥取県第七十	鳥取県第七十一	鳥取県第七十二	鳥取県第七十三	鳥取県第七十四	鳥取県第七十五	鳥取県第七十六	鳥取県第七十七	鳥取県第七十八	鳥取県第七十九	鳥取県第八十	鳥取県第八十一	鳥取県第八十二	鳥取県第八十三	鳥取県第八十四	鳥取県第八十五	鳥取県第八十六	鳥取県第八十七	鳥取県第八十八	鳥取県第八十九	鳥取県第九十	鳥取県第九十一	鳥取県第九十二	鳥取県第九十三	鳥取県第九十四	鳥取県第九十五	鳥取県第九十六	鳥取県第九十七	鳥取県第九十八	鳥取県第九十九	鳥取県第一百

平成12年 2 月 5 日 発行

そ う せ い

佐賀県	長崎県第二	長崎県第一	大分県	福岡県	愛媛県	松源寺様	宗淵寺様	禅慶院様	知足寺様	福正寺様	法恩寺様	長陽寺様	成福寺様	西林寺様	瑞応寺様	瑞林寺様	興雲寺様	栖岸院様	本光寺様	不動寺様	龍国寺様	永福寺様	聖種寺様	玉泉寺様	玄興寺様	安楽寺様	松月寺様	宝蔵寺様	神光寺様	西方寺様	護国寺様	長泉寺様	宝泉寺様	長命寺様	報恩寺様	常葉寺様	本光寺様		
長野県第二	新潟県第三	新潟県第一	新潟県第一	富山県	福井県	真浄寺様	清水庵様	円応院様	宗源寺様	碩水寺様	宗福寺様	長久寺様	雲竜寺様	栖林寺様	円明寺様	瑞林寺様	浄林寺様	観音寺様	大淵寺様	全龍寺様	広乾寺様	廣乾寺様	瑞雲寺様	慶徳寺様	円福寺様	瑞光寺様	永昌寺様	洞源寺様	慈雲寺様	長徳寺様	竜谷院様	龍源寺様	安住寺様	善福寺様	桐盛院様	周広院様	善広寺様		
新潟県第四	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	鑑洞寺様	延命寺様	積尊寺様	太総寺様	正法寺様	龍源寺様	龍泉院様	福巖寺様	英林寺様	雲泉寺様	不動寺様	龍国寺様	永福寺様	聖種寺様	玉泉寺様	松泉寺様	徳成寺様	正金寺様	佛母寺様	蓮蔵寺様	飯盛寺様	長谷寺様	興国寺様	西勝寺様	西光寺様	大泉寺様	昌福寺様	正法寺様	常春院様	昌建寺様	細谷寺様	龍鳳寺様		
岩手県	青森県	山形県第二	山形県第二	山形県第二	山形県第一	明光寺様	浄泉寺様	常光寺様	龍伝寺様	蔵円寺様	天宗寺様	東林寺様	蓮蔵寺様	大有寺様	長泉寺様	天寧寺様	養林寺様	興隆寺様	万円寺様	宝勝寺様	長興寺様	全應寺様	紹楽寺様	活牛寺様	柳沢寺様	西光寺様	功岳寺様	統禪寺様	大通寺様	繁昌院様	柳徳寺様	耕能寺様	興禪院様	徳本寺様	徳泉寺様	観音寺様	善龍寺様	宝壽寺様	蟠龍院様
山形県第一	山形県第一	山形県第一	山形県第一	山形県第一	山形県第一	見性寺様	観音寺様	常堅寺様	報恩寺様	照覚院様	浄珠院様	清水寺様	源勝寺様	心公院様	聖福寺様	要津院様	円通寺様	長福寺様	祇陀寺様	円通寺様	曹源寺様	松山寺様	瑞興寺様	玉泉寺様	沼福寺様	東栗寺様	大光寺様	正音寺様	南陽寺様	吉祥寺様	東顕寺様	永昌寺様	天徳院様	宗全寺様	観音寺様	智園院様	夢宅寺様	長弘寺様	保福寺様
北海道第一	北海道第二	北海道第二	北海道第二	北海道第二	北海道第二	正法院様	自由寺様	萬松寺様	蘭庭院様	鳳松院様	福寿院様	普門院様	龍源寺様	陽春院様	長泉寺様	慶松寺様	普門寺様	法休寺様	龍泉寺様	養源寺様	観音寺様	盤昌寺様	慈願院様	高福寺様	法幢寺様	大覚寺様	全久寺様	安宗院様	宝昌寺様	洞春院様	見政寺様	峰鷲院様	雲岩寺様	大円寺様	最禪寺様	相川寺様	補陀寺様	自性寺様	
北海道第一	北海道第二	北海道第二	北海道第二	北海道第二	北海道第二	満福寺様	宝門寺様	竜泉寺様	満友寺様	松源院様	大円寺様	能持院様	長年寺様	東林寺様	黄龍寺様	鏡得寺様	松樹院様	源守院様	松庵寺様	清源寺様	見性寺様	宝珠寺様	蒼龍寺様	葉師寺様	法幢寺様	大覚寺様	全久寺様	龍雲寺様	孝徳寺様	大雄寺様	龍雲寺様	養寿寺様	相川寺様	補陀寺様	自性寺様	うございました。			

総合企画事業研修委員会だより

「真心の種をまきましょう」

花祭り布教セット

甘茶と花の種 無料配布

お釈迦様の記念日、三忌仏
私たちのもっとも大切な日

真心の種をまきましょう

全国曹洞宗青年会



全曹青 青年寺



キャンペーンお申し込みのご案内

全国曹洞宗青年会では、これまで四月八日の花祭りの普及に、教化ポスターの作成、イベントの開催などをして実施して参りました。

本年度は昨年度の事業を継続して、「真心の種をまきましょう」運動を展開したいと考えます。つき

ましては、会員を対象に花の種等を次の内容で配布しますので、希望される会員はお申し込み願います。

なお、今回は数量限定で配布いたしますので、ご理解の上、一件一〇部まででお願いいたします。

実施内容
次のデザイン紙封筒と花の種ほかのものを送付いたします。

- (同封するもの)
- 甘茶ティーパック
- 花の種
- 三仏忌の説明文

各自で封筒裏側にゴム印等で寺院名を入れるなどして、花の種等を詰めてご利用願います。

申込数量 一件 一〇〇部まで
合計限定 八〇〇〇部(先着順)

申し込み方法(費用無料)

次の必要事項を記載の上、葉書又はFAXにて、お申し込み願います。

- ①都道府県名 ②寺籍番号
- ③氏名 ④住所
- ⑤電話番号 ⑥FAX番号
- ⑦希望数量(一〇〇部まで)
- ⑧その他

申し込み先
〒99011442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿
一六八 福昌寺内

総合企画事業研修委員 鈴木秀徳
TEL 023716712328
FAX 023716712328

申し込み期限 平成12年2月末日
配布予定 平成12年3月下旬
配布方法 宅配便で着払いにてお届けします。

配布させていただいた方にはモニタールとして簡単なアンケートのご協力をお願いいたします。

お知らせ

平成十二年度
全国曹洞宗青年会総会開催
平成十二年六月二十二日(土)二十三
日「葬祭シンポジウム」同時開催
会場 東京グランドホテル

編集後記

今年は一〇〇〇年という記念すべき年回りとなりました。

また、道元禪師ご生誕八〇〇年という慶賀な年です。この宗門の布教の好機に二十一世紀への宗門の提言を皆様より拝聴する紙面づくりに致したいと考えております。ご意見のある方は全国曹洞宗青年会広報委員会宛てにお便り下さい。

なお、皆様からお寄せ頂いた賛助金は全曹青の活動に活用させて頂いております。そしてその活動報告として会報「そうせい」を、全国曹洞宗寺院に無料配布いたしております。本年もどうか若い僧侶の活動と育成に、ご協力いただきますようお願いいたします。

表紙のデザインは出雲市、極楽寺ご住職重橋良豊師にご協力いただきました。

編集長 池上幸秀
参 与 東井千明
事務局 千葉塚道

全曹青の コラム

いも掘り

掘る 掘る
小さな指が
シヨベルカーにも負けない
すごいパワーで
土をまさぐり はねのけていく
あった
大きないもはおおきなよろこび
小さないももおおきなよろこび
どろにまみれた手で
ほこらかにかがけてみせる
まだあるかな
大地はいつも
おさな子のてのひらから
かぎりない夢をめぐむ

(岡山県 成興寺) おぐら みよこ

連載

会長が走る

②

分家用の「御本尊・掛け軸」あったらいいなあ



全曹青会長 荒木正昭

二十一世紀もいよいよ間近に迫った。物質的に不足し食べ物に不足する

時代と、物豊かに溢れる時代に、「人は心を見失う。」と言います。つまり二十一世紀は宗教の時代(心の時代)となっていくでしょう。

いつも思うのは「仏教か。」「先祖教か。」と自問自答しながら一年があつという間に過ぎ去ってしまう。

「お寺はなぜ必要なのでしょう。」と聞くと、檀信徒の皆様ほとんどが「和尚さん決まっているじゃないですか。」「先祖様をお願いしているから、私も死んだらお世話にならないければならないから無くては困りますよ。」と平然と答えられる。

そこにはお釈迦様という言葉も道元禅師様も瑩山禅師様も言葉の中に出てこない。お釈迦様をはじめ宗祖方は宗教をつくり広めるために御精進にされたわけではない。しかし檀信徒の方々は本家だからお仏壇を祀

り、「内はまだほとけさまがないから。」と言いながら死者が出た時だけ涙を流し、合掌し、「信じてますよ。」とこゝき人をお願いしている。

信仰とは信じて仰ぐと書く、苦しい時や、悲しい時に手を合わせるのも信仰だが、何も無い時の普段の合掌が真の信仰だと思ふ。

家庭崩壊と言われる家庭環境も大きな環境問題の一つであると思ふ。家の宗教は二十世紀のお話で、二十一世紀は個人の信仰となり行くことはさげられない。

つまり分家でも、アパートの一人暮らしでも、高価な仏壇にこだわらず、「お釈迦様・道元様・瑩山様」としつかり明記された三尊仏を祀り、水を一杯でもお供えし合掌する場を生活の中に持つことを伝えてゆく時代にしなければいけない。

宗教の問題がこれだけで報じられている今、子供が別世帯を構えたらその掛け軸一本を親が持たせることが大事である。



道元様
お釈迦様
瑩山様

発行所

全国曹洞宗青年会

〒105-8544 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内

発行責任者 荒木正昭 編集責任者 池上幸秀

T E L 03-3454-5411 定価100円

http://www.sousei.gr.jp

郵便振替 00110-1-130539

全国曹洞宗青年会